

平成 29 年度草の根育成助成 助成事業紹介

分野	福 祉 分 野
事業名	居場所作りと子ども食事提供
団体名	『まなび屋ひまわり』
実施場所	東村山市青葉町 3-4-18 自立援助ホーム「実家」を活用
地域の課題	地域には、『高齢者世帯の認知症への不安と、地域内における孤独』『豊かに育つためのモデルである親等の保護者が留守状態の家族化』『食事・勉強・学校準備への助力、核家族の孤独化』これらを背景としながらも、『高齢者の社会貢献力』と『核家族における養育環境充実への要望』とのネジレ交差環境の存在解消が課題です
事業紹介	<p>1人で過ごす子の居場所を提供する事業です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆一緒に遊んだり宿題・勉強したい子 ◆他の子と遊ばせたい子 ◆就労や急な用事の為に、留守を小さな子にさせてしまう時。 ◆遅い帰宅の為に下校後の子が独りぼっちになってしまう子。 ◆子守りを頼める方が居ない。 <p>心配しながら、仕事や急用を果たすのは大変ですね。</p> <p>受験勉強や宿題・学校準備もします。おやつや食事の提供もできます。一緒に留守番しています、</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆養育の相談も乗ります。
担当者コメント	<p>人間の子が成長する一番大事な時期は幼少～思春期です。親や世代を超えた大人をモデルに自己肯定感を高めより豊かな社会性を身に付けていきます。安心した周りの成育環境が大切です。</p> <p>親を見守るのは地域社会です。</p>
団体紹介	<p>人は全面依存の中で生まれ、親や世代を超えたアドバイスを選択しながら不安と自己肯定の模索を繰り返して安心安全豊かな生活を求めます。</p> <p>しかし、頼る親や見護る大人が居ないと自己防衛に固執しやすいのですが、そんな気持ちに寄り添い、見護り、社会に貢献できる人に成長する様に応援しているのが、『実家』です。 社会の中で豊かに自活するには、地域の世代を超えて支え合える環境があることが重要です。</p>